

「2024（令和6）年度 第2回「御同朋の社会をめざす運動」中央委員会報告

報告者：教区委員長竹内俊之

1、日時 2025（令和7）年2月14日

2、場所 伝道本部2階 研修室（web併用）

3、参加者 中央委員47名・総局（総長、総務）・宗務所員・関係室所部長

4、報告事項

- (1) 宗門重点プロジェクトの現状等について、重点プロジェクト推進室長より報告があった。
- (2) 2025（令和7）年度から施行の新たな宗務部門職制について、宗務組織機構改革推進本部事務室部長より説明があった。
- (3) 宗門におけるジェンダー平等の取り組みについて、社会部人権担当部長より報告があった。
- (4) 「平和に関する論点整理」（戦後80年版）について社会部部長より説明があった。
- (5) その他 長野教区における過去帳開示問題について経過の概略報告が担当部長よりあった。

以上、それぞれ資料に基づいての報告がされた。

5、協議事項

高岡教区から次の2件の意見具申があった。

- ① 意見具申と中央委員会の報告を『宗報』に掲載することを求める。
- ② 戦後80年のあたっての非戦平和・ヤスクニ問題に関わる宗派声明を出すことを求めます。

上記2件に対して、提出教区委員より補足説明があった後、それぞれに協議された。

- ① 掲載内容は精査して『宗報』に掲載されることを要望し、総局は理解を示された。
- ② 宗派より「『平和に関する論点整理』（戦後80年版）の骨子」が示されたので、今後それに則って宗務を進められることが確認された。

尚、今中央委員会の議事録は、後日各教務所に送付される。

以上